

2015 ROTAX MAX FESTIVAL in FESTIKA Circuit Mizunami



2015 ROTAX MAX FESTIVAL in FESTIKA CIRCUIT MIZUNAMI

2015/10/10-11 開催

大会事務局
2015/9/30

公式通知 No.7

ヒート方式と予選ポイントについて

全クラス宛

本大会 各クラスにおいて下記の通りの方式に従ってヒートを行う。

【Micor/Mini】

各クラス組分け無しで、公式練習～タイムトライアルを行い、タイムトライアルの結果で予選ヒート1（H1）と予選ヒート2（H2）のスタートグリッドを決定する。

各予選ヒートを行い、総合ポイントの少ない選手からプレファイナルヒートスタートグリッド1位とし、プレファイナルのヒート結果をファイナルのスタートグリッドとします。

【Novice】

組分け無しで公式練習を行う。予選ヒートグリッドは参加受付時のくじ引きによって、ヒート1のスタートグリッドを決定。予選ヒート2スタートグリッドはヒート1の結果の逆順とします。

予選総合ポイントの少ない選手からプレファイナルヒートスタートグリッド1位とし、プレファイナルのヒート結果をファイナルのスタートグリッドとします。

【Junior】

公式練習からタイムトライアルまで組分け無しで行い、タイムトライアルの結果ベストラップ順に 1位からA, B, C, A, B, C・・・と組分けを行い、3組での予選総当たり戦を行います。

予選ヒート終了後は、総合ポイントの少ない選手からプレファイナルヒートスタートグリッドの1位とし、プレファイナルヒート結果をファイナルのスタートグリッドとします。

【Senior/Masters】

選手参加受付時にクジ抽選を行い、公式練習とタイムトライアルの出走組「①・②」組どちらかを決定し、各組でタイムトライアルまでを行います。

タイムトライアルにおいて、①組、②組 各選手のベストラップ順で総合し、1位から順にA, B, C, D, A, B, C, D・・・と4組での予選総当たり戦を行います。

予選ヒート終了後は、総合ポイントの少ない選手からプレファイナルヒートスタートグリッドの1位とし、プレファイナルヒート結果をファイナルのスタートグリッドとします。

なお、予選総合29位以下の選手はセカンドチャンスヒートを行い、セカンドチャンスヒート結果の上位6名を加えた、合計34台が決勝ファイナリストとなります。

各クラスタイムトライアルにおいてベストラップの遅い組の最速タイムが、速い組のそれよりも101%以上の場合は、1番を最速タイム（全体の最速タイムの者）、2番目を遅い組の最速タイムの者、3番目は速い方の組の2番目のタイムの者、4番目は遅い組の2番目のタイムの者、5番目は、速いグループの3番目のタイムの者、以下同様に決定されます。（102%ルールの適応）

予選ヒートでのポイントは、1位＝0ポイント、2位＝2ポイント、3位＝3ポイント、とこれ以下は1ポイントずつ加算されていきます。ヒート失格（DQ）は最下位となり、最下位ポイント＋2ポイントが加算され、不出走者（DNS）は最下位ポイント＋1ポイントが加算されます。

例）20台出走のヒートでDQの場合＝20＋2＝22ポイント

予選総合ポイントが同ポイントの場合はタイムトライアルの順位を採用とし、NOVICEクラスにおいては、予選ヒート中のベストラップを採用とします

以上